

Pronunciation Breakthrough: Empowering Students with Daily-basis Training in English with the Newest Online Tool

授業者:附属高等学校池田校舎 Charles Rogers, 山脇 一輝

1. 対象 附属高等学校池田校舎 第1学年3組(37名)

2. 単元および本時の目標

・知識及び技能に関して

- ①対話の中で取り上げられる語句を聞いて、その意味を的確に判断することができ、それらの語句をペアやグループ間の対話や Dictogloss 中に適切に活用することができる。
- ②“that”が一文中で用いられる際、文中での働きに応じて読み方(強弱のつけ方)が異なることを理解し、それを Festa!を用いた音読・発音練習に活かすことができる。
- ③対話中に賛成、反対を述べる表現方法をインプットし、それをペアやグループ間の対話において適切に活用することができる。
- ④Model Dialogue の流れ、機能表現、そしてこれまでに培ってきた発音や音読のスキルを Festa!を用いた音読・発音練習に活かすことで、自身の英語の Speaking 力をさらに伸ばすことができる。

・思考力、判断力、表現力等に関して

- ①高校生にとってもっとも必要であろう教科についてのやり取り、および書道が必修科目であるべきかどうかについての対話を即興で成立させるために、どんな語句や機能表現を用いればよいのかを考え、本時およびこれまでに学習した語彙や表現を活用しながら自身の考えを英語で表現することができる。
- ②Model Dialogue において、一文中の強弱と話者の表現したいことの連関や機能表現の活用のされ方などに着目しながら、Dialogue 全体を繰り返し音読練習し、その効果や役割について分析を進めることができる。

・学びに向かう力、人間性等に関して

- ①対話中に賛成・反対を述べる表現方法を活用し、生徒たちが題材(質問)に対し、お互いの意見を適切に交換し理解に努めることができる。
- ②Festa!を用いた Model Dialogue の音読練習を繰り返し行い、自身の英語の Speaking の得手不得手について分析し、さらに Speaking 力を伸ばし、今後の表現活動(Presentation, Discussion, Debate, Skit)の素地を養うことができる。

3. 指導にあたって

(1)教材観

Miho と Bob の対話を通して、英語 Discussion や Debate における賛成・反対の意見の仕方を学習する単元である。「書道を選択科目から必修科目にすべきか?」という生徒たちにとって身近な題材を用いることで、ペアやグループでの活動の際に、賛成・反対をふまえた自分自身の意見を英語で表現する練習を行い、英語 Speaking 力を向上させることを目標とする。

(2)生徒観

4月からの授業(週1回)を通じて、生徒たちは日々、Festa!を用いた音読練習による英語スピーキング力

向上,とくに Fluency と Accuracy の2側面のレベルアップに努めてきた。授業内では,このトレーニングに加え,英語の Speech や Discussion など自分自身の考えを表現する際に必要となる知識・技能を身につけてきた。その成果を発表する場面として,すでに授業内での Speech, Presentation, Discussion に取り組んでいる。

本クラスの生徒は,教師の説明や指示を聞く姿勢や,教師の指示に対する反応が非常に良い。また,英語学習においても意欲的で,日々の Festa!を用いたトレーニングや授業内活動を通して,知識・技能の習得に熱心である。

前期の学びのふりかえりのアンケートを実施したところ,半年間の授業を通して,約85%の生徒が自分の Speaking 力に多少なりとも自信がついたと回答し,80%以上の生徒が自分の Listening 力に多少なりとも自信がついたと回答している。また,約90%の生徒が,Festa!を用いたトレーニングに有効性を感じていると回答している。このことから,日々の授業や家庭での宿題としてのトレーニングに積極的に取り組み,Fluency と Accuracy の力を向上させていることが分かる。

7月の授業より,Lead-in および Speaking output のとして,ペアもしくはグループによる1分間のチャットやディスカッションの時間を設けてきた。その場において,既習事項(語彙・表現・発音)を用いながら,継続した対話ができるようになりつつある。しかし,特に英語を話すことに苦手意識を持つ生徒は,話し手の英語に反応しようと意識しているものの,相づちや返答の定着にまだ課題が残ることが感じられる。

(3) 指導観

上記教材観,生徒観をふまえ,本単元(本時)においては,以下の2点に焦点をあてる。

① 生徒の主体的な学びとなるような言語活動の設定

Lead-in として,「高校生にとってもっとも必要とされると思う教科は何か?」という発問を行い,ペア・グループでお互いの意見を共有させる。そのうえで,Model Dialogue の Listening, Dictogloss を行い,「書道が必修科目であるべきかどうか」についての様々な語彙や考え方,賛成・反対の表現方法などをインプットする。それらインプットした知識や技能,情報を用いて,上記の問いについて,賛成・反対を含めた生徒たち自身の考えを表現させるミニ・ディスカッションの場を設ける。

② Festa!を用いた音読・発音練習の時間の確保

英語 Speaking 力,特に Fluency と Accuracy を向上させるためには,日々の継続したトレーニングが欠かせない。宿題として,自宅で Festa!を用いた音読・発音練習をさせることに加えて,授業内でも個々の練習時間を確保することで,生徒がこのトレーニングに対する意欲を高めるように指導する。

4. 単元および本時の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(L)(S) ①対話の中で取り上げられる語句を聞いて,その意味を的確に判断している。また,それらの語句をペアやグループ間の対話や dictogloss 中に適切に活用している。	(S) ⑤高校生にとってもっとも必要であろう教科についてのやり取り,および書道が必修科目であるべきかどうかについてのやり取りにおいて,その場に応じた適切な言葉や表現を活用しながら	⑦高校生にとってもっとも必要であろう教科についてのやり取り,および書道が必修科目であるべきかどうかについてのやり取りをするにあたり,自分の意見や考えを表現するうえで必要な単語や機能表現などを主体的

<p>(L)(S) ②対話を聞いて、その大意を理解し、自分の言葉で再現している。</p> <p>(S) ③対話中に賛成、反対を述べる表現方法をインプットし、それをペアやグループ間の対話において適切に活用している。</p> <p>(S)(R) ④Model Dialogue において、ターゲットとなる機能表現や Sounds で扱われた発音のポイントを理解している。また、それらを Festa! を用いた音読活動に活用している。</p>	<p>ら自分の考えを英語で表現している。また、ペアやグループ間での対話を通して、他者の意見を適切に理解している。</p> <p>(S)(R) ⑥Model Dialogue において、ターゲットとなる機能表現や Sounds で扱われた発音のポイントについて、その役割や効果を自分なりに分析し理解している。</p>	<p>に身につけようとしている。</p> <p>⑧Festa! を用いた音読練習をふりかえり、自身の英語 Speaking の得手不得手について分析し、今後自身の英語の Speaking 力を伸ばすために何をすべきかを考えようとしている。</p>
--	---	---

5. 本時の展開

(1) 本時で発揮されるグローバル市民性について

大阪教育大学の池田地区においては、「平和や安全の課題を創造的に解決する市民」であるとともに「主体性・寛容性・協働性を備えたグローバル市民」として、グローバル社会を協働的に創造することができると期待される人材を、12年間の教育を通して育成することをめざしていくこととしている。そして、そのような「グローバル市民性」とは、「多様性社会の中で協働する力」「自律的に行動する力」「実社会に生きる知識・技能」という3つの大きな軸から成り立つものであると仮定義づけしている。

本授業においては、

- ①生徒自身が英語の Speaking 力、特に Fluency と Accuracy をどのように向上させるか、ということを試行錯誤しながら、Festa! を用いた継続的な音読・発音練習に取り組むことで、問題解決に向けて自律的に行動する力を養うこと
- ②ペアやグループでの活動の際に、賛成・反対をふまえた自分自身の意見を英語で表現し、他者の意見を受け入れ、ペアやグループ内での意見を集約するという経験を繰り返すなかで、多様な価値観を持つ他者と共同し問題解決に向けて取り組む力を養うことが期待される。

(2) 展開

Time	Contents	Details	How to evaluate students (①~⑧)
1 min	Greeting		
2 min	The goals of this lesson	have students read the goals and check them in pairs/groups	
5min	Lead-in	30 sec: brainstorm	⑤・⑦

	“Which subject do you think is the most necessary for high school students?”	1 min: have a conversation with pairs/groups 2min: choose one student and have a conversation with Charles	in a conversation in pairs/groups
12min	Warm-up ①New words ②Listening (2-3 times) ③Dictogloss ④Shadowing	① have students repeat after Charles, and then ask questions in pairs/groups ② have students listen to the model conversation and take notes, and then share/compare it in pairs/groups ③-1 try to do Dictogloss with new pairs ③-2 choose one student and have them dictogloss in front of the audience ④ have students check the script, and then have them try to do shadowing with/without the script	①·② in a worksheet
2min	Sounds	have students check the point of the sound “that” in the model dialogue	④ in a conversation in pairs/groups
2min	Function	have students check the expression of how to agree/disagree in the dialogue	③·④ in a conversation in pairs/groups
10min	Festa! ①Festa! practice ②Overlapping	① have students prepare to do Festa! practice, and then have them do Festa! practice by themselves ② have students try to do overlapping with/without the script	④·⑥·⑧ in Festa! practice in a reflection sheet (H.W.)
7min	Kahoot!	have students try to play Kahoot!	⑦ in a Kahoot! quiz
6min	Speaking Output Agree or Disagree.	1 min: brainstorm 1 min: have a conversation in	③·④·⑤·⑦ in a conversation in

	“Calligraphy should be a required subject.”	pairs/groups 2min: choose one student and have a conversation with Charles	pairs/groups
1 min	Homework	tell students about homework	
1 min	Greeting		

(3) 準備物

PC, プロジェクター, HDMI ケーブル, タイマー, 授業プリント, 授業スライド

6. 参考文献

- David, H. & Charles, L. (2009). *SPEAKING OF SPEECH New Edition*. MACMILLAN
- 廣森友人 (2023). 『英語学習のメカニズムー第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』. 大修館書店.
- Jacobs, G. (2003). Combining Dictogloss and Cooperative Learning To Promote Language Learning. *Reading Matrix*, 3(1), 1-15
- 国立教育政策研究所 (2021). 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』 Retrieved from https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_gaikokugo.pdf
- 文部科学省 (2018). 『高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説【外国語編 英語編】』 Retrieved from https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf